

まじまじ



自転車発電！電気はつくかな～



第7回環境学習講座
「はっちゃねんの地産地消クッキング」



いよいよ岩手の冬も本格的になってきました。訪問学習などで環境学習交流センターに来られる子供たちからは、「寒いのはいやだ～」とか「雪で遊べるから寒くてもいい！」など、様々な声が聞かれます。外は寒くても、心がホッと温まる・・・そんな冬の過ごし方を考えてみたいものです。

冬を快適に過ごす知恵など、センターでは皆さんからのお便りもお待ちしています。

Index

- ▶ センター情報
企画展示「うちエコでぽっかぽか冬生活」
「いわて環境フォーラム2007 in 盛岡」
- ▶ 団体紹介
＜西和賀町＞ カタクリの会
＜川井村＞ 早池峰の自然を考える会

- ▶ リアルなアドベンチャーを味わう
イベント報告「キッズ漁師の知恵と匠体験！」
- ▶ 県内イベント情報
- ▶ 特集コラム
環境問題とノーベル賞
石田正史さんのドイツ通信Vol.2

センター情報

地球になるべく負荷をかけない岩手の冬の暮らし方。そんな情報が満載のセンター展示をご紹介します。また、当センターが11月に開催した一大イベントの様子もお届けします。

◎展示

第4回企画展示 うちエコでぽっかぽか冬生活

4回目を迎えた企画展示では、衣食住をメインに“岩手ならではの温かな生活”をご紹介します。まず「衣」のコーナーでは、「楽しみながらウォームビズ」をテーマに、チーム・マイナス6%の啓発ツールや百貨店での取材報告を交えた岩手のウォームビズ事情、伝統織物などについてご紹介。次に「食」では、ひつまみやそばかけなど、体の芯から温まる岩手の伝統食のレシピを掲示しています。そして「住」では、木質エネルギーや県産材を使う大切さについて考えてもらえるような空間に。さらに、県民の皆さんから募集している、石油や電気をなるべく使わずに温かく暮らす「冬のエコな工夫」のご紹介も行っています。岩手の冬と共に今回の展示も期間が長く、どんどん変化していく予定です。お楽しみに！



冬の
エコな工夫
募集中!!

皆さんが普段行っている、電気や石油等をなるべく使わずに、岩手の冬を楽しく乗り切るための“工夫”を教えてください。送って頂いた“工夫”は、随時環境学習交流センター内に掲示させていただきます！

応募は、EメールまたはFAXにて受け付けます。いずれも件名を「冬のエコな工夫」として、①お名前（ペンネーム）、②お住まい（市町村）、③あなたがしている工夫について、を明記し、下記まで送って下さい。

岩手県地球温暖化防止活動推進センター
Fax : 019-606-1753 Mail : iccca@aiina.jp

◎イベント報告

「いわて環境フォーラム2007 in 盛岡」
日時：11月23日（祝・金）10:00～18:00
場所：アイーナ4F・5F



3連休初日の11月23日、「環境問題を抜きに21世紀の岩手の未来を語ることはできない」ということで、センターのビッグイベント「いわて環境フォーラム2007 in 盛岡」を開催しました。今回は、環境学習交流センターが入居するアイーナでの開催となり、別の用事で来た方が興味津々で立ち寄り姿も見受けられました。子供から大人まで、家族や友人同士、職場で…と、幅広い世代で環境問題について考えることができたのではないのでしょうか。

4F・県民プラザ



ポスターセッション

環境問題に取り組む18の市民団体や事業者、行政によるポスター発表と意見交換を行いました。



リフォームファッションショー

センターで毎月開催している着物のリフォーム講座から、事例として実演紹介をしました。皆さん、素敵です！

5F・環境学習交流センター



今回の環境フォーラムにご協力いただいた方々、そして足を運んでくださった方々に、スタッフ一同感謝の気持ちでいっぱいです！ありがとうございました。



CO₂ダイエット・マイナス8% 「第1回エコ8カップ」選考・発表会

県内各地域の6団体による地球温暖化防止に向けた取り組みの発表と、優秀事例の選考会を開催しました。最優秀賞となった「減クルマでまちづくり実行委員会」は、2月に東京で開催される全国大会に、岩手県代表として出場します。

5F・ギャラリー



壁新聞・エコハッチャンめりえ展示会

幼稚園や保育園の園児による、色とりどりのエコハッチャンのめりえ展示や、小中学校で環境保全に取り組んだ内容を紹介する壁新聞の展示をしました。個性あふれるめりえを見ているとついつい笑顔になってしまいます。壁新聞も取り組みの成果が分かりやすくまとめられていました。

センター内イベント

シニアものづくり隊が作成した空気機関車を走らせる子ども向けイベントの他、エネルギー環境ネットワークによる工作イベントなどを開催。もちろん子供たちだけでなく、大人も夢中で遊びました！

そして、フォーラムの締めくくりには、人間の声だけで演奏するア・カペラコンサート。アイーナ中に響き渡る歌声に足を止めて聴き入る方もいました♪



Information

詳しいことは、環境学習交流センターまでお問合せください。

○センターイベント情報

- ・こどもエコクラブ交流会
日時：1月12日（土）～13日（日）1泊2日
場所：ブナの森自然塾 さそう館（西和賀町）
- ・岩手県地球温暖化防止活動推進員の日
日時：1月19日（土）13:00～15:30
場所：環境学習交流センター
内容：温暖化についてのミニ講演会、他
- ・第10回環境パートナーシップ会議
日時：1月19日（土）10:00～12:00
場所：環境学習交流センター
テーマ：薪・炭

団体紹介

今号は、フィールドでの活動を中心に自然の大切さなどを伝えている団体の紹介をします。場所は遠い、思いはどこか通じるものがあるような気がします。また、センタースタッフによるイベント取材の報告もあります！

カタクリの会 (西和賀町)

カタクリの会は「自然観察会を通じて、自然の仕組みを理解し、自然を大切にすることを養う」ことを目的に、1991年1月より、毎月一回西和賀地域で奥羽自然観察会を続けてきました。どなたでも観察できる気軽さと、西和賀のフィールドの大きさから、毎月20~30人前後の参加があり、2007年8月で200回を迎えました。参加者の感想などが掲載されるカタクリ通信は年6回の発行で100号になります。

自然は不思議で神秘的。この感動を多くの人と分かち合いたいですね。



早池峰の自然を考える会

(川井村)

早池峰の自然を考える会 (HANAC) は、早池峰と北上高地をフィールドに、年10回の自然観察会開催を中心とした活動をしており、野生動植物をテーマに毎年様々な趣向を凝らしたユニークなものを目指しています。自然とのふれあいを通して、北上高地の山・森・生き物・人との関係はどうあるべきか？さらには自然環境の保全とその持続的な利用を先人たちの教えをもって実践していきたい—そう考えています。自然観察会はどなたでも参加できます。早池峰の森と生き物達に会いに来ませんか？



「キッズ・漁師の知恵と匠体験！」

日時：11月3日 (土)

会場：田野畑村・机浜番屋群

(北山崎より5km南)

主催：体験村・たのはた推進協議会

後援：岩手県教育委員会、田野畑村教育委員会、三陸鉄道

リアス式海岸を堪能できる「サッパ船アドベンチャーズ」が大人気と聞きつけて、11月3日に行われたイベントに密着取材してきました。

参加人数は25名。対象は小学3年生から小学6年生。三陸鉄道沿線の小学校か



県内のイベント報告

らの参加が多かったようです。当日は天気もよく波も穏やかだったので、絶好の「サッパ船アドベンチャーズ」日和。

「百聞は一見にしかず！」。まさにその通りで、この大自然の素晴らしさは体験してみなければ分からない。とっておきのスリルと文字通りアドベンチャーがそこに待っていたのです…。

子供達は救命胴衣を装着するところから一苦労 (以外と時間がかかった)。そしていよいよそれぞれの船に乗り込み、いざ海へと!!



その岩肌の荒々しさ！壮かさ！岩肌の間に大きく口を開けた天然のトンネルの迫力！どれをとっても自然の神々しさに圧倒されるばかり!!

ツバメ穴という洞穴にも、船に乗った

まま入りました。海の青さと洞穴の貫禄に息をのむ瞬間…。その薄暗さ、響く波の音、コバルトブルーの海面、大自然の中に飲み込まれ、子供達は「うわぁ…」と、一瞬言葉を失いました。

何度も岩のトンネルをくぐり、海から切り立つ北山崎を眺め仰ぎ、時には船を止めて海底を見つめました。大きなウニやアワビをあちらこちらで見つけることができました。

この波に揺れる船の感覚、波に削られた岩々、飛び立つ海鳥、むせ返るような潮の香り。マイナスイオンを体一杯に浴びて、大自然を生々しく体感することができました。

子供達も「ディズニーランドより面白い!!」と大喜びしていました。岩の上には木の枝を集めて作った「ミサゴの巣」も見ることができました。もちろんその「巣」だって本物。ディズニーランドに行かずとも、この地元の自然の中でリアルなアドベンチャーが味わえる！そう感じました。

海の中をのぞいている三年生の女の子が「あ～幸せだ～」と何度も言っていたのが非常に印象に残りました。

県内のイベント情報

鞍掛山雪上自然観察会

- ・日時：1月19日(土)
午前9時40分～午後2時30分
- ・参加料：大人600円 小学生400円
- ・集合場所：相の沢登山口(駐車場)
- ・定員：30名

「わらぼうり」を作ってみよう!

- ・日時：1月27日(日)
午前9時30分～午後3時
- ・参加料：一人2,000円
(材料費、保険料含)
- ・集合場所：網張ビジターセンター
- ・定員：25名

網張の森 雪上自然観察会

- ・日時：2月10日(日)
午前10時～午後2時30分
- ・参加料：大人800円 小学生600円
- ・集合場所：網張ビジターセンター
- ・定員：30名



鞍掛山雪上自然観察会

- ・日時：2月23日(土)
午前9時40分～午後2時30分
- ・参加料：大人600円 小学生400円
- ・集合場所：相の沢登山口(駐車場)
- ・定員：30名

三石山スキーツアー

- ・日時：3月1日(土)、3月29日(土)
午前8時30分～午後3時
- ・参加料：3,500円
(リフト代、温泉入浴料含)
- ・集合場所：網張温泉スキーセンター前
- ・定員：30名
- ・参加資格：基礎スキー技術2級程度以上
スキー用具は山スキーまたは
テレマークスキー

お問合せ

網張ビジターセンター
TEL：019-693-3777
FAX：019-693-3778
E-mail：amihari@vanilla.ocn.ne.jp

頑固漁師と子どもふれあいキャンプ

- ・日時：1月6日(日)～12日(土)
6泊7日
- ・参加料：35,000円
(プログラム体験料・宿泊費・
食費・保険料・材料費込み)
- ・集合場所：三陸鉄道 田野畑駅(午後1時)
- ・定員：小4～小6 15名

お問合せ

体験村・たのはた推進協議会
TEL&FAX：0194-37-1211
E-mail：
taiken-tanohata@car.ocn.ne.jp



第4回INEEEエネルギー 環境学習研修会

- ・日時：1月17日(木) 午後1時～5時
- ・参加料：無料
- ・場所：アイーナ5F 501会議室
- ・定員：教育関係者 30名

お問合せ

いわてエネルギー環境教育ネットワーク
TEL&FAX：019-621-6941
E-mail：takaki@iwate-u.ac.jp

北いわてスローツアー 「一面に広がる白銀の世界・葛巻町」

- ～森と風のがっこうで出会う北いわての冬～
- ・日時：1月12日(土)～14日(月・祝)
- ・参加料：20,000円
(食費、宿泊費、保険料等含)
- ・集合場所：森と風のがっこう
- ・定員：大人12名(親子も可、先着順)

くすまき・子ども自然エネルギー スプリングスクール

- ～自分でつくり出したエネルギーでエコ生活～
- ・日時：3月26日(水)～29日(土)
- ・参加料：15,000円
- ・集合場所：森と風のがっこう
- ・定員：小4～中3 20名(先着順)

お問合せ

NPO法人岩手子ども環境研究所
TEL&FAX：0195-66-0646 E-mail：mori@kaze.mi.to



『温暖化の世界地図』（日本語版）

カースチン・ダウ、トーマス・ダウニング著／
近藤洋輝訳／丸善株式会社／2007年

地球全体の問題として温暖化を考える時に、お勧めしたい一冊。世界では温暖化の原因や被害、関わり方は少しずつ異なるものです。身近なところから心がけることも大切ですが、世界的に取り組んでいく必要性を、この世界地図を見ながら感じてもらいたいと思います。

『自分を信じて生きる インディアンの方法』

松木 正著／小学館／2001年

人間も含めたすべては大きな自然の中にあり、つながっている。北米のインディアン、ラコタ族が語る言葉には環境問題を考えるヒントだけでなく、幸せを手に入れるための方法が隠されています。そして、彼らの持つ思想や生き方は、日本人が古くから持つそれと一致するところが多いです。そう、すべてはつながっている。

●センターでは新刊図書もそろえています。環境に関する学習や調べ物に活用してください。貸出もしています●

特集コラム

環境問題と「ノーベル賞」

2007年のノーベル平和賞が、地球温暖化問題に取り組むアル・ゴア元米副大統領と、国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）に授与されたことは皆様の記憶に新しいところだと思います。他に、環境問題がノーベル賞の対象となったものを簡単にご紹介します。

- ・2004年 ノーベル平和賞（植林活動による持続可能な開発や民主主義と平和への貢献）：ワンガリ・マータイさん
- ・1995年 ノーベル化学賞（オゾン層の破壊に関する研究）：パウル・クルツェン、マリオ・モリーナ、シャーウッド・ローランド

オゾン層破壊に関する研究で受賞していた方がいらっしゃいました。皆さん、ご存知でしたか？過去20年の間に3件が受賞しています。今後も注目ですね。

<センター通信>スタッフのつぶやき

早いもので一年があっという間に過ぎていきます。この一年の間で、いろんな方と出会い刺激をたくさん受けました。この場を借りてお礼を言いたいと思います。

さて、ノーベル賞について調べてみると、今まで知らなかった事実があって面白い！同じ分野では最大3人まで受賞できるそうです。もし、その年に同じ分野で4人の候補がいたとしたら…。これは気になりだすと止まらない。時間があればもっと調べてみたいと思います。情報がありましたら、こっそり教えてください。（ぼ）

前回好評をいただいたドイツ通信。寒さも本格的になってきたということで、ドイツ・ベルリンの語学学校でドイツ語の勉強をしている石田さんから、暖房事情や寒さ対策についての印象を聞いてみました。



暖房について言うと、自分の家と学校の暖房は、家（学校）の中心で暖かいお湯を作り、それを各部屋にあるスチームのようなものに送るスタイルです。日本だと各部屋の暖房が一台一台独立しているタイプが多いので、そこが異なる点でしょうか。

また、寒さ対策についてですが、こちらでは健康の為でしょうが、走っている人を多く見かけます（冬になったので数は減りましたが、夏はかなりいます）。走って体を温めて尚且つ健康になれる、一石二鳥といった感じでしょうか。また、（ベルリンでは）歩きながらビール、さらにはワインを飲んでいる人も結構見かけます。体が冷えてしまいそうな気がしなくもないですが、早足で歩けばそれなりに体が温まる、自家発電のような気がします。

今回も、ドイツの生活に密着した視点で貴重なお便りをいただくことができました。ありがとうございました。

発行 環境学習交流センター

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 アイーナ5F
TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753
E-mail: eco@aiina.jp

<http://www.aiina.jp/environment/>

◎環境学習交流センターは、
特定非営利活動法人環境パートナーシップいわてが
岩手県から委託を受けて運営しております。

次号は3月発行予定です。
楽しみに待っていますね！